

PL-1000 使用説明書

完成品

¥29,000

この原はミズホPL-1000を
お買い上げただきまして誠に有
難うございました。
本機は別売のピコトランシーバーの
送信出力を10Wにアップする専用
ワイドバンドリニアアンプです。

【1】 御使用の前に

1. アンテナ端子をシヨートま
たはオープンの状態て送信し
ないで下さい。
2. アンテナは運用周波数に合
った500HM系の物を使用
して下さい。

3. 電源は直流13.8Vの安
定化電源で電流2.5A以上
が取り出せる物が必要です。
モータービル運用でバッテリーを
使う時は、12Vで使います
。24Vバッテリーを使うと
セッが破損します。

4. 電源の十ーに注意して下さ
い。逆接続すると赤黒コード
の中間にあるヒューズホルダ
内のヒューズが飛びます。
この場合は、内部のヒューズ
を新しい3Aの物に交換して
下さい。

5. リニアとピコトランを組み合
わせて使う時はリニアの電源
スイッチがTHROUまたは
HIGHのどちらの時でも、

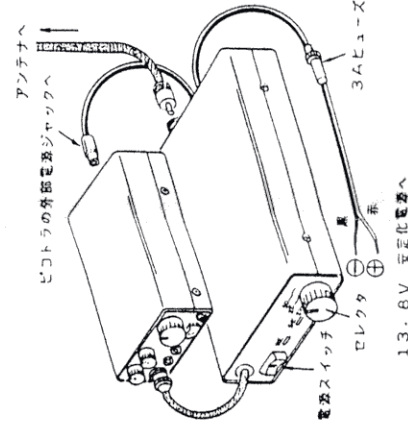
SELECTORスイッチは
必ず運用周波数に合わせて御
使用下さい。

【2】 接続及び操作方法

1. 図-1のようにピコトランと
本機を接続します。
2. SELECTORスイッチ
を運用周波数に合わせて。

3. 電源スイッチをHIGHに
します。受信時は緑色ランプ
が点灯し、送信時はSSBで
は、しゃべると、CWではキ
ーダウンで赤色ランプが点灯
します。

4. QRP運用する時はリニア
の電源スイッチをTHROU
にすればピコトランだけの出力
で電波が出ます。(図-1)



【3】 定格

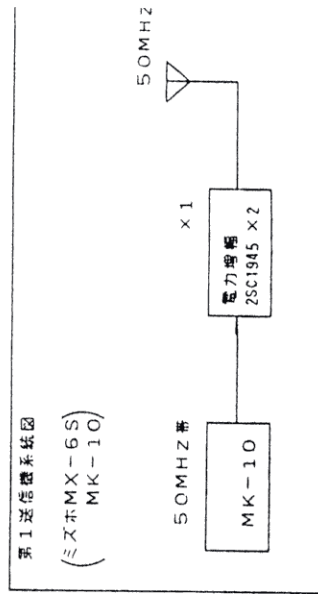
動作周波数	3.5~50MHz	使用半導体数	5TR、2IC
電波型式	CW、SSB		8Di、2LED
出力電力	10W	電源電圧	13.8V DC
入力電力	HF(2W) VHF(1W)	消費電流	2.5A
入出力インピーダンス	50Ω	外形寸法	W110XH4C xD190mm
		重量	750g

【4】 JARL認定について

本機(PL-1000)とピコトランのコンビ(10W出力)でJARLの
認定を受けたい時は、下記のように記入して下さい。(50MHzの例)

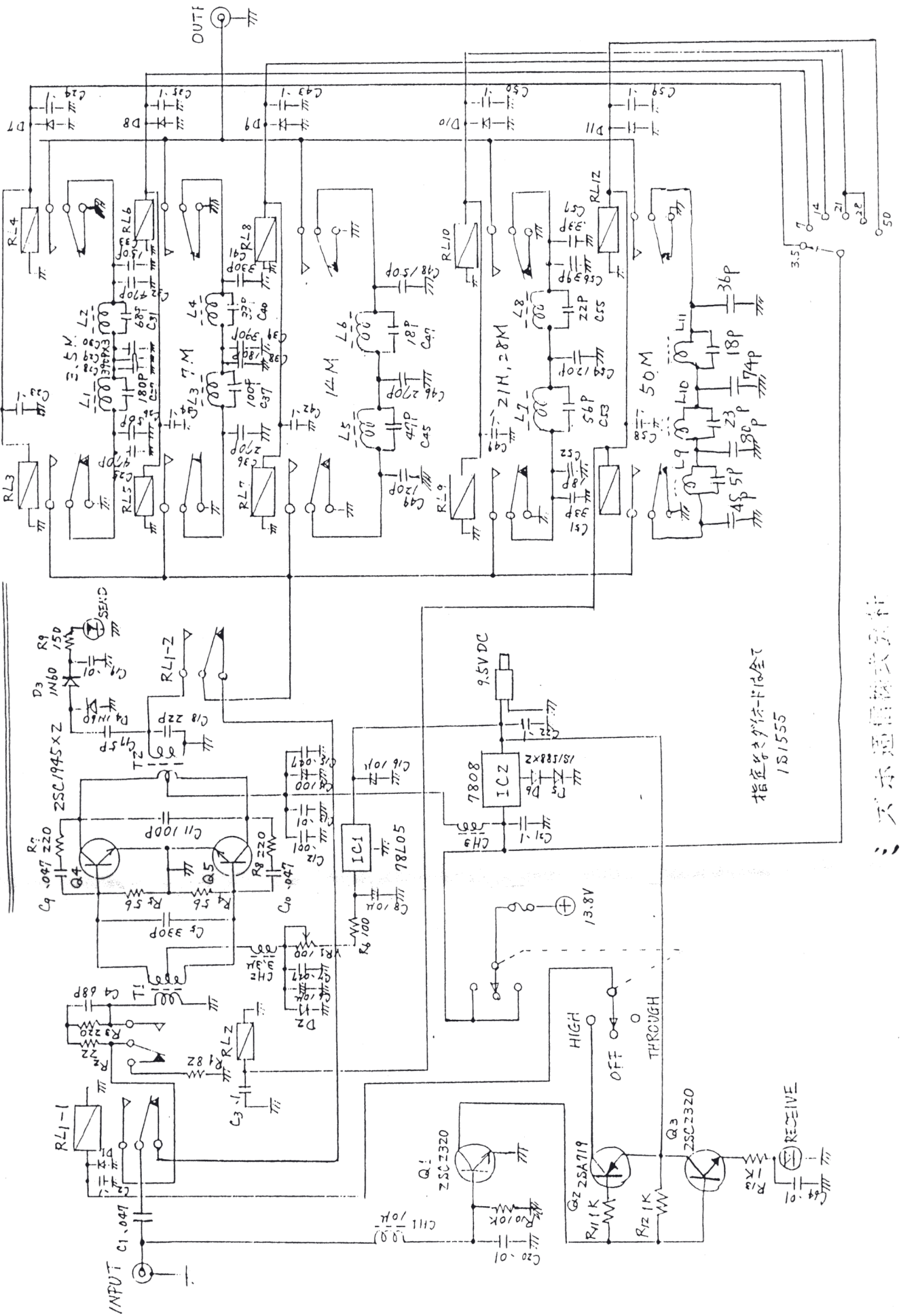
工事設計書 * 電話級免許の方は必ず [] 部分を削除して下さい。

区分	第1送信機
発射可能な電 波の型式、周 波数の範囲	電波の型式 [A1] A3j
変調の方式	50MHz帯 平衡変調
名 称 番 号	2SC1947×1
	2SC1945×2
電圧入力	8.5V 2.5W 13.8V 20W



* 上記のように記入すれば、10W運用の他にMX-6Sだけの1W運用も
同時に認定されることになります。
他のバンドで申請する時もピコトランの認定番号、周波数、入力電力が異な
るだけで書きかたは同様です。

PL-1000 LINEAR AMP. 回路图



指定零件すべては全て
181555

大塚通信機株式会社